

第 1 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会ワーキングにおける主な意見等

項目	会議	意見・質問等	推進計画への反映	
河川 下水道 対策	河川 整備	上WG	修正 河川整備は、下流からの改修で長期間を要するため、「3-3 流域対策」に、河川下水道対策の限界を記載の上、流域対策を推進することを追記	
		上WG		河川整備計画で実施する河床掘削が記載されているが、いつできるかわからない。
	維持 管理	上WG	反映 済 「3-2 河川・下水道対策」及び「4. 河川下水道対策」に適切な維持管理を行うことを記載済	
流域 対策	ため池 水田	上WG	修正 「3-3(2) 指定施設の積み上げ」に「実施事例を紹介し、効果を知ってもらえるよう普及啓発を図る」ことを追記	
		上WG		農家としては、水の必要な時期と田んぼを乾かす時期があり、いつ降るかわからない大雨に水田で対応するのは難しい。
		上WG		上流で貯め、下流を守ることは、貯める場所と効果がある場所が異なるため、調整が必要である。
山地 管理	上WG	修正 総合治水の普及には、貯留することの効果を知ってもらうことが重要である。		
減災 対策	浸水 想定 区域	下WG	修正 地域では、高齢化が問題となり、山も見入人がいないことが課題である。	
	垂直 避難	下WG	反映 済 「6-1 浸水が想定される区域の指定」における「河川・下水道・その他水路の氾濫」では、内水ハザードマップと捉えられるため、洪水ハザードマップとして、河川に限定する方が適切である。	
	共助	下WG	変更 無 「6-5 浸水による被害の軽減のための体制の整備」に「垂直方向の避難」について記載済	
			「6-5(2) 共助の取り組み」におけるハザードマップの記載は、防災マップの方が適切でないか。	変更 無 ハザードマップを使用する市町もあり、「ハザードマップ等」のままとする。